

# 運転曲線作成システムSPEEDY の刷新

信号・情報技術研究部(運転システム)

田中 峻一



# 運転曲線作成システムSPEEDY

## SPEEDY

System for train Performance Evaluation, Drawing and analYsis

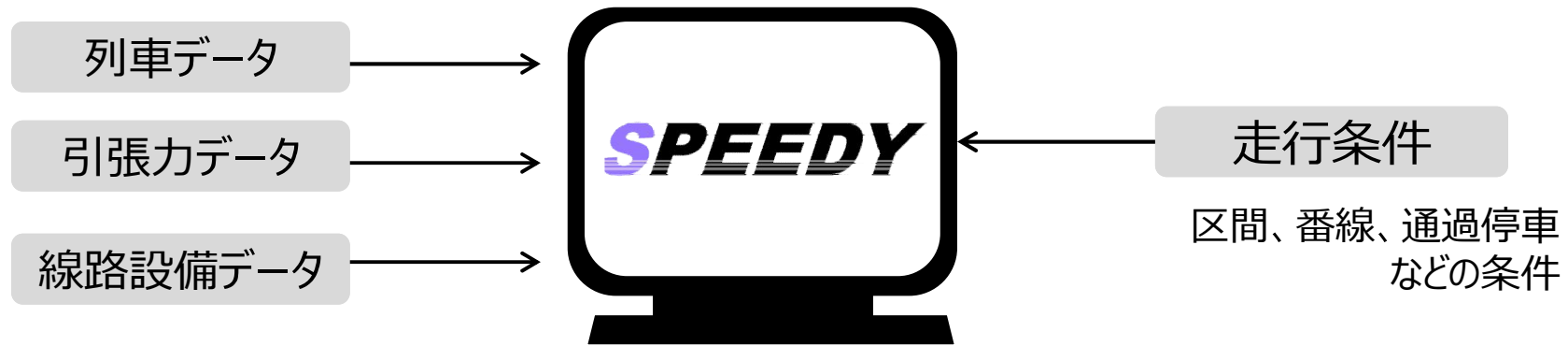
- 列車の性能評価、描画、及び分析のためのシステム
- 運転曲線図の作成をコンピュータ化することにより、速度定数業務を支援

## コンセプト

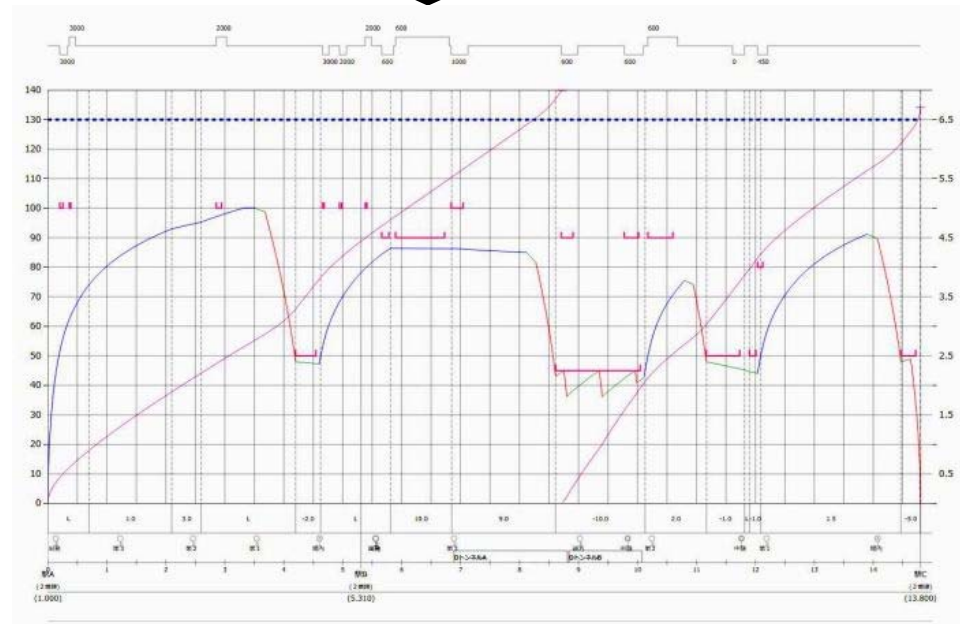
- 運転理論及び入力データをもとに、運転曲線を自動作成
- 担当者の手書きで作成したものと近い運転曲線図



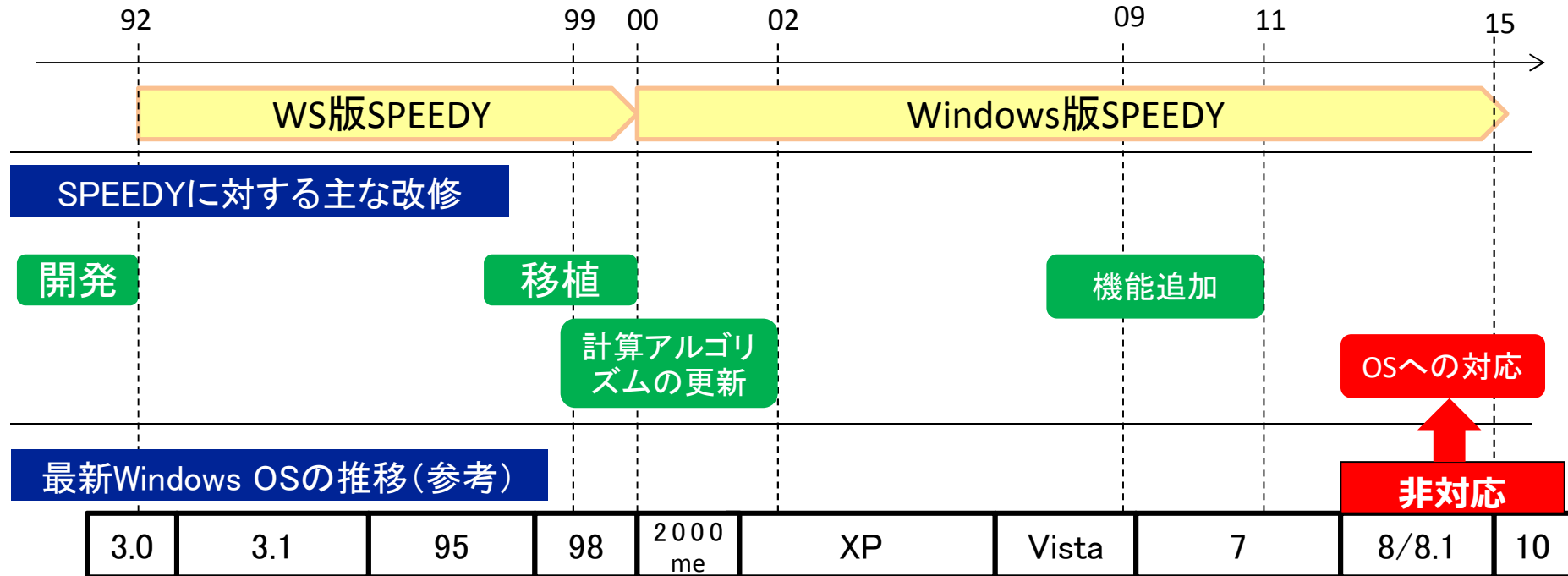
# 運転曲線作成システムの概要



運転曲線図



# これまでの開発経緯



機能追加は必要に応じて随時改修を行っているが、ベースとなるインタフェースやデータ構造に関しては大規模な改修が行われず10~20年が経過

➡ Windows8以降のOSに対応させるとともに、これまで大きな改修がされなかったインタフェース・データ構造についても改修を実施

2016年4月販売開始予定



## 新SPEEDYのコンセプトと用途例

- これまでのSPEEDYと似た使用方法
- 内部構造を拡張性の高いデータ構造へ変更
- ユーザインタフェースを刷新

### 幅広い用途に利用可能

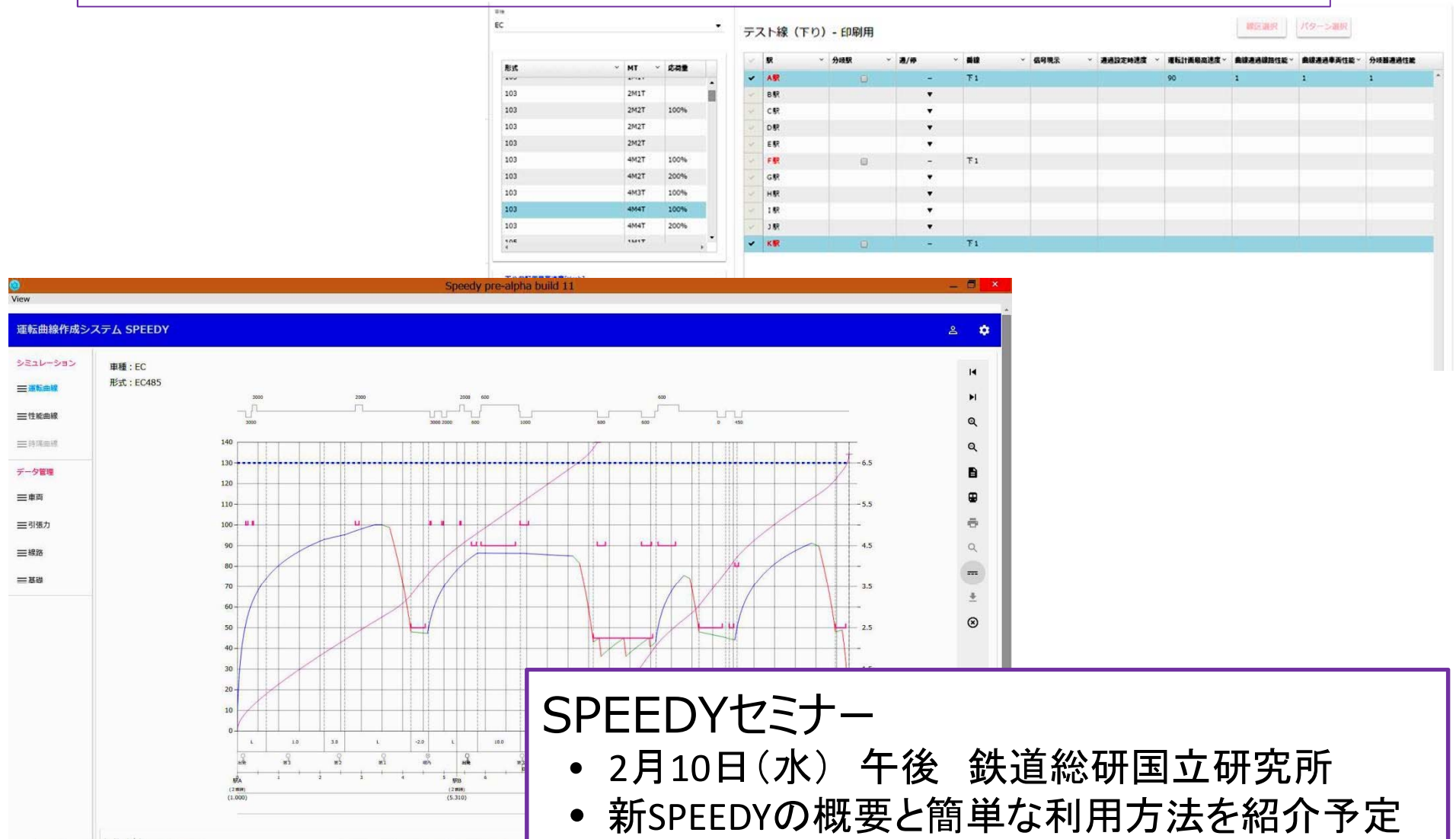
- 基準運転時分の算出
- 新製車両や新線計画におけるシミュレーション
- 徐行による遅れ時間の検討
- 車両性能向上や設備改良による速度向上施策の検討

など



# 新SPEEDY 画面例

ミニセッション（個別ブース）にて開発中のシステムのデモを実施



## SPEEDYセミナー

- 2月10日(水) 午後 鉄道総研国立研究所
- 新SPEEDYの概要と簡単な利用方法を紹介予定